



13/511143

手 続 補 正 書  
(法第 1 1 条の規定による補正)

特許庁審査官 殿



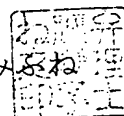
1. 国際出願の表示 PCT/JPO3/04283

2. 出 願 人

名 称 株式会社 セクト化学  
KABUSHIKIKAISHA SEKUTO KAGAKU  
あて名 〒335-0002 日本国埼玉県蕨市塚越6丁目13番10号  
6-13-10, Tsukagoshi, Warabi-shi, Saitama  
335-0002 JAPAN  
国 籍 日本国 J a p a n  
住 所 日本国 J a p a n

3. 代理人

氏 名 (10681) 弁理士 鷹野 みふね  
TAKANO Mifune  
あて名 〒150-0002 日本国  
東京都渋谷区渋谷1-12-12  
宮益坂東豊エステート602号  
Miyamasuzaka-Toho-Estate 602,  
1-12-12, Shibuya, Shibuya-ku, Tokyo  
150-0002 JAPAN  
電話番号 03-5774-4464  
FAX番号 03-5774-4465



4. 補正の対象 請求の範囲

5. 補正の内容

(1) 請求の範囲第26頁第9項の「請求の範囲7記載の」を、「請求の範囲8記載の」に補正する。

6. 添付書類の目録

(1) 請求の範囲第26頁

7. 前記熱放射防止被膜の厚みが、 $0.01 \sim 10 \mu\text{m}$ であることを特徴とする、請求項4～6のいずれかに記載の熱放射防止ガラス。
8. ガラス基板の片面に、請求項1～3のいずれかに記載のガラス用水溶性熱放射防止塗料を塗布して塗布層を形成する塗布工程と、前記塗布層を乾燥させて熱放射防止被膜を形成する乾燥工程とを含むことを特徴とする、熱放射防止ガラスの製造方法。
9. (補正後) 前記熱放射防止被膜の可視光線透過率が90%以上、日射熱吸収率が $0.01 \sim 11\%$ 、及び常温熱放射の波長域における放射熱吸収率が $0.01 \sim 20\%$ であることを特徴とする、請求項8記載の熱放射防止ガラスの製造方法。
10. 日射熱を吸収したガラスからの熱放射を防止する方法において、請求項4～6のいずれかに記載の熱放射防止ガラスを、前記ガラス基板面が日射熱の照射される側に向くように配置して、前記熱放射防止被膜面からの熱放射を防止することを特徴とする、熱放射防止方法。